

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はり・きゅう実技7	実技	2	60	臨床医学総論、臨床医学各論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論、解剖学など
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3学年	馬淵 正洋	■ 有 □ 無	日々の 鍼灸臨床実務より、臨床場面での疾患鑑別、及び施術に伴う知識、技術を学びます。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
鍼灸師が扱う運動器疾患に対し、検査や施術等の基本的技術獲得を目標とする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
本教科は鍼灸師が臨床現場で遭遇する可能性の高い運動器疾患に対して実技を行っていきます。 臨床現場での事例も加えて説明していきます。					
教科書・参考書					
東洋療法学校協会「臨床医学総論」「臨床医学各論」「経絡経穴概論」「解剖学」					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 【 受講科目受講時留意点 】 ●質問は随時受け付けます。授業以外の鍼灸臨床に関する質問もお受けします。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100%	定期試験100%とします。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		ガイダンス 肩こり①		/	馬淵
2		肩こり② 頭痛、眼精疲労		/	馬淵
3		顔面痛、歯痛、 顔面神経麻痺		/	馬淵
4		頰椎症		/	馬淵
5		胸郭出口症候群		/	馬淵
6		背部痛		/	馬淵
7		胸部痛		/	馬淵
8		筋筋膜性腰痛		/	馬淵
9		根性坐骨神経痛		/	馬淵
10		梨状筋症候群		/	馬淵

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		腱板損傷		/	馬淵
12		上腕二頭筋長頭腱炎		/	馬淵
13		五十肩		/	馬淵
14		肘外側上顆炎		/	馬淵
15		肘内側上顆炎		/	馬淵
16		ドケルバン病		/	馬淵
17		手根管症候群		/	馬淵
18		前期定期試験(授業内実施)		/	馬淵
19		上肢末梢神経麻痺		/	馬淵
20		股関節痛		/	馬淵

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		大腿四頭筋打撲		/	馬淵
22		ハムストリングス肉ばなれ		/	馬淵
23		膝側副靱帯損傷		/	馬淵
24		十字靱帯損傷		/	馬淵
25		半月板損傷		/	馬淵
26		変形性膝関節症		/	馬淵
27		下肢運動神経麻痺		/	馬淵
28		こむら返り、 アキレス腱炎・周囲炎		/	馬淵
29		足関節捻挫、 足底腱膜炎		/	馬淵
30		後期定期試験(授業内実施)		/	馬淵